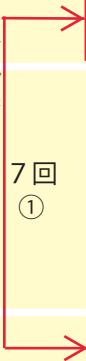


7. アジアの都市で今なにが起こっているか

概要	<p>世界総人口の半分以上を占めるアジア地域では、都市化の波が押し寄せ、さまざまな社会問題を生じています。これらの諸課題は、同地域内で閉じるものではなく他の地域へと波及し、さらには地球規模の問題に発展することが懸念されています。</p> <p>本公開講座では、先進国と途上国が協調した「アジア地域の環境的に持続可能な発展」を目指す研究者がそれぞれの専門分野の見地から、“アジアの都市で今なにが起こっているか”について分かりやすく解説します。特に、先進技術を社会に実装する社会や地域のイノベーションについて考察します。</p> <p>アジアの都市に興味のある多くの方々のご参加をお待ちしております。</p>	
会場	東広島キャンパス 国際協力研究科 大会議室	
時間	① 13:00～14:30 ② 14:50～16:20	
定員/対象	40名 / どなたでも	
受講料	無料	
7/6 (土)	1回 ①	<p>本講座の概要説明 生活の視点：中国の都市化と農民工</p> <p>国際協力研究科 教授 張 峻屹</p> <p>中国の都市で働く農民工（現在 2.6 億人以上、今後毎年 1000 万人以上増加）を対象に、それに関わる各種社会問題を生活の視点から描き、それらの問題を解決するためにどのような都市政策が講じられているかを紹介し、中国の今後の発展について皆さんと一緒に考えたいと思います。</p>
	2回 ②	<p>社会的リスクの視点：インドを事例に</p> <p>国際協力研究科 准教授 力石 真</p> <p>多くのアジア都市では、輝かしい経済発展の一方、都市の貧困が大きな問題となっています。ここでは、インド都市のスラム街を事例に、人々の生活実態、スラム街の再開発の取り組みの実態を紹介し、スラム街を多数抱えるアジア途上国のまちづくりのあり方について皆さんと一緒に考えたいと思います。</p>
7/13 (土)	3回 ①	<p>気候変動と災害の視点： Bangladesh・インドネシアを事例に</p> <p>国際協力研究科 准教授 李 漢洙</p> <p>気候変動に伴う極端気象や自然災害の増加は、多くのアジア都市において頻繁に起こるようになってきています。ここでは、Bangladeshとインドネシアの沿岸都市を中心に、極端気象と自然災害が都市に与える影響の研究事例を紹介し、今後の気候変動の動向を踏まえて強靱な都市づくりのあり方について皆さんと一緒に考えたいと思います。</p>
	4回 ②	<p>生態系の視点： マレーシア・シンガポールを事例に</p> <p>国際協力研究科 准教授 保坂 哲朗</p> <p>都市における豊かな生態系の存在は生物多様性の保全だけではなく、都市住民の豊かな生活にとっても欠かせないものとして、アジア諸国においても近年注目されています。ここでは、マレーシアやシンガポールを事例に、都市における生態系・緑化の実態、生態系と人々の生活との関係を紹介すると同時に、アジアらしいグリーンなまちづくりのあり方について皆さんと一緒に考えたいと思います。</p>

7/20 (土)	5回 ①	防災の視点：モンゴルを事例に	国際協力研究科 特任教授 山本 春行
	6回 ②	住まいの視点： マレーシア・インドネシアを事例に	国際協力研究科 准教授 久保田 徹
7/27 (土)	7回 ①	農村との連携の視点：ベトナムを事例に	国際協力研究科 准教授 チャンダン スアン
	8回 ②	海洋の視点：インドネシアを事例に	国際協力研究科 教授 肥後 靖
8/3 (土)	9回 ①	交通の視点：ベトナムとインドネシアを事例に	国際協力研究科 教授 藤原 章正
	10回 ②	全体的討議	国際協力研究科 教授 張 峻屹ほか

入れ替え



講座内容に関する問合せ

 国際協力研究科 支援室
(学生支援・国際交流担当)

 電話：082-424-6910
メール：koku-gaku@office.hiroshima-u.ac.jp